

	広島大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	<p>医学部保健学科</p> <p>看護学専攻（第1年次：60名、第3年次：10名）</p> <p>理学療法学専攻（第1年次：30名、第3年次：5名）</p> <p>作業療法学専攻（第1年次：30名、第3年次：5名）</p> <p>医歯薬保健学研究科保健学専攻（M：34名、D：15名）</p>
沿革・設置目的	<p>広島大学医学部が設置された後、平成4年、看護学・理学療法学・作業療法学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科が設置された。</p> <p>昭和28年（1953年） 広島大学医学部設置</p> <p>昭和31年（1956年） 医学部附属看護学校設置</p> <p>平成4年（1992年） 医学部保健学科設置</p> <p>平成8年（1996年） 大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程）設置（平成10年（1998年）に博士課程後期を設置、修士課程を博士課程前期に改称。平成14年（2002年）大学院保健学研究科保健学専攻に改称。平成24年（2012年）大学院医歯薬保健学研究院及び大学院医歯薬保健学研究科保健学専攻に改組）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 平和を希求する精神をはじめとする広島大学の理念等に基づき、医療系部局との連携を活かし、豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、科学的思考力と創造性に富み、絶えざる自己変革の意識と広い視野を持ち、指導的役割を担って地域社会・国際社会に貢献できる保健医療の専門職を養成する。</p> <p>○ 医療系部局をはじめとする他部局との連携を強化し、新しい知の創造に向かって学際的・先進的な研究に取り組み、地域社会・国際社会に貢献できる研究者を養成するとともに、本学の伝統である「教育力」を活かし、大学教員としての確かな教育能力を備えた教育者を養成する。</p> <p>○ 医療系部局との連携を活かし、看護学、理学療法学及び作業療法学領域において、生活習慣病、がん、認知症、発達障害などを中心に、高度な看護・リハビリテーション実践の開発をはじめとする総合的・先進的な研究と産学官連携を積極的に推進し、新たな研究領域の開拓と保健学の発展に</p>

	<p>寄与するとともに、その成果を積極的に発信し看護・リハビリテーションの質の向上に貢献する。</p> <p>○ 学部・大学院・大学病院が連携を強化して、臨床現場のニーズや社会からの要請に呼応した優れた教育・研究を実施する体制を築く。</p>
--	---